

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は902名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.4 1 Hくん (平成29年3月卒・航海専攻・現20歳) 遠洋かつお一本釣り漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 餌イワシの積込みと管理をしている。
- * 魚の一本釣り、魚越し（凍結魚の移動）、ブリッジでの当直をしている。

Q. 大変なことは？

- * 仕事の内容を覚えること。
- * 船の上で重いものを運ぶとき。
- * 同期入社の人と比べられたこと。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 船員との会話、カツオを釣っているときが楽しい。
- * 他船との会合（沖で会うこと）で、たばこの交換ができるのが嬉しい。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 実習船「やいづ」で一カ月航海をしたこと。船の中での生活のやり方が大体分かった。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * ロープワーク（万力結び、クラブヒッチ等）が役立っている。
- * 座学の勉強が少し役立った。

☆. 在校生へのアドバイス

- * やる気のある人が望まれる。
- * 仕事を覚えようとする姿勢が大事。

(平成29年12月20日)